

平成 26 年度事業報告書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(付 平成 27 年度 事業計画書)

一般財団法人 福井県内水面漁業振興会

一般財団法人 福井県内水面漁業振興会

目 次

平成 26 年度事業報告

1. 事業報告	
(1) 事務の概要	2
(2) 事業の概要	4
2. 収支決算報告	
(1) 収支決算報告書	5
(2) 収支計算書に対する注記	6
(3) 貸借対照表	7
(4) 正味財産増減計算書	8
(5) 財務諸表に対する注記	11
(6) 附属明細書	13
(7) 財産目録	14

平成 27 年度事業計画

1. 事業計画	17
2. 収支予算	18

平成 26 年度事業報告

I. 事務の概要

(1) 主たる事務事項

年月日	内 容	会 場
平成 26 年 5 月 20・21 日	会計監査	海山漁協
5 月 28 日	理事会 平成 25 年度事業報告・収支決算報告について 平成 26 年度事業計画・収支予算案について 理事の選任について 一般財団法人の登記完了について	
6 月 16 日	評議員会 平成 25 年度事業報告、収支計算書、貸借対照表 正味財産増減書および附属明細書の承認について 平成 26 年度事業計画（案）および収支予算（案） の承認について 理事の選任について	内水センター
平成 27 年 3 月 19 日	理事会 平成 27 年度事業計画（案）と予算（案）について	内水センター

(2) 役員に関する事項

理事：13名 監事：3名

(平成27年3月31日現在)

役職名	氏名	内水面漁連役職	所属漁業協同組合
理事長	江川 正生	代表理事会長	足羽川漁業協同組合長
副理事長	増井 増一	理事	鳥浜漁業協同組合長
理事	辻下 義雄	監事	北潟漁業協同組合長
理事	新井 俊成	代表監事	奥越漁業協同組合長
理事	三ツ井英治	理事	大野市漁業協同組合長
理事	吉田 廣秀	理事	九頭竜川中部漁業協同組合長
理事	廣瀬 哲夫	監事	竹田川漁業協同組合長
理事	美濃 美雄	理事	日野川漁業協同組合長
理事	橋本 賢作	理事	河野川漁業協同組合長
理事	岸本 勤	理事副会長	敦賀河川漁業協同組合長
理事	仲寫 繁文		耳河川漁業協同組合
理事	武田 利満	理事	南西郷漁業協同組合
理事	原田 進男	理事	若狭河川漁業協同組合長
監事	丸山 忠男	理事	勝山市漁業協同組合長
監事	吉田 善信		海山漁業協同組合長
監事	藤原 健治		佐分利川漁業協同組合長

評議員：5名

(平成27年3月31日現在)

氏名	役職名
松崎 雅之	福井県農林水産部 水産課課長
青海 忠久	福井県立大学 副学長
安久 彰	安久会計事務所 公認会計士
中野 治一	福井県漁業協同組合連合会 専務理事
今田 武	日本釣り振興会福井県支部 支部長

II. 事業の概要

財団法人等公益法人制度改革により、当振興会も平成 26 年 4 月 1 日に一般財団法人への移行登記となり、平成 26 年度以降は基金の柔軟な活用による内水面漁業振興事業の円滑な実施が可能となった。

本年度は、公益目的支出計画に基づき、次の事業および福井県への特定寄付を適切に実施した。

1. 漁業被害防止事業

湖沼・河川漁場における不法投棄物・汚濁水に起因する漁場汚染を防止することや内水面漁場周辺清掃等の経費に対する経費を助成した。

【助成対象団体】 16 漁業協同組合（北潟、奥越、大野市、勝山市、九頭竜川中部、竹田川、足羽川、日野川、河野川、敦賀河川、耳河川、南西郷、鳥浜、海山、若狭河川、佐分利川）

【活動内容】 漁場清掃活動および漁場汚染防止活動を定期的に行なった。

【助成額】 計 1,280,000 円

2. 水産増殖促進事業

福井県内水面漁業の振興を目的とした放流事業等の実施に要する事業費を助成した。

【助成対象団体】 16 漁業協同組合（北潟、奥越、大野市、勝山市、九頭竜川中部、竹田川、足羽川、日野川、河野川、敦賀河川、耳河川、南西郷、鳥浜、海山、若狭河川、佐分利川）

【活動内容】 アユおよび雑魚（ヤマメ、ウナギ等）の種苗放流を実施した。

【助成額】 計 2,350,000 円

3. 漁業経営安定事業

福井県内水面漁業の技術向上、経営安定を目的とした情報提供、指導・相談、講習会、実地研修会の開催等に要する事業費を助成することとしていたが、当該年度は助成申請がなかった。

4. 特定寄付

福井県に 500 千円の寄付を行った。

平成 26 年度収支計算書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目		当初予算額	決算額	比較増減	備考
大 科 目	中科目				
I 事業活動収支の部					
1.事業活動収入					
財産運用収入		2,533,848	3,677,305	1,143,457	
	預金利息	14,828	14,062	▲766	
	有価証券利息	2,482,710	3,640,460	1,157,750	
	有価証券運用収入	36,310	22,783	▲13,527	
事業活動収入計		2,533,848	3,677,305	1,143,457	
2.事業活動支出					
事業費支出		4,230,000	4,130,000	▲100,000	
	水産資源増殖促進事業	2,350,000	2,350,000	0	
	漁業被害防止事業	1,280,000	1,280,000	0	
	漁業経営安定事業	100,000	0	▲100,000	
	福井県への継続寄付	500,000	500,000	0	
管理費支出		2,095,000	2,697,949	602,949	
	事務委託費	600,000	600,000	0	
	会 議 費	0	0	0	
	旅費交通費	300,000	193,620	▲106,380	
	通 信 費	5,000	5,000	0	
	消耗備品費	5,000	6,700	1,700	
	図書印刷費	5,000	5,000	0	
	賃 借 料	20,000	20,000	0	
	租税公課	100,000	755,985	655,985	
	新財団法人移行経費	1,000,000	982,800	▲17,200	
	雑 費	60,000	128,844	68,844	
事業活動支出計		6,325,000	6,827,949	502,949	
事業活動収支差額		▲3,791,152	▲3,150,644	640,508	
投資活動収支差額		3,357,641	2,774,354	▲583,287	
当期収支差額		▲433,511	▲376,290	57,221	
前期繰越収支差額		433,511	433,511	0	
次期繰越収支差額		0	57,221	57,221	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金としている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	433,511	57,221
合 計	433,511	57,221
次期繰越収支差額	433,511	57,221

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金・預金	57,221	433,511	▲ 376,290
流動資産合計	57,221	433,511	▲ 376,290
2.固定資産			0
投資有価証券	202,536,360	196,237,770	6,298,590
定期預金	17,704,410	17,704,410	0
普通預金	0	2,763,938	▲ 2,763,938
固定資産合計	220,240,770	216,706,118	3,534,652
資産合計	220,297,991	217,139,629	3,158,362
II 負債の部			0
1.流動負債			0
未払金	0	982,800	▲ 982,800
流動負債合計	0	982,800	▲ 982,800
負債合計	0	982,800	▲ 982,800
III 正味財産の部			0
1.指定正味財産	62,700,000	207,022,650	▲ 144,322,650
2.一般正味財産	157,597,991	9,134,179	148,463,812
正味財産合計	220,297,991	216,156,829	4,141,162
負債及び正味財産合計	220,297,991	217,139,629	3,158,362

正味財産増減計算書

(平成 26 年4月1日～平成 27 年3月 31 日)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取利息	3,669,228	4,135,965	▲ 466,737
経常収益計	3,669,228	4,135,965	▲ 466,737
(2) 経常費用			
①事業費	4,656,170	3,630,000	1,026,170
助成金	3,630,000	3,630,000	0
福井県への継続寄付	500,000	0	500,000
事務委託費	400,000	-	400,000
旅費交通費	96,810	-	96,810
通信費	4,000	-	4,000
消耗備品費	5,360	-	5,360
図書印刷費	4,000	-	4,000
賃貸料	16,000	-	16,000
②管理費	1,188,979	2,040,335	▲ 851,356
事務委託費	200,000	600,000	▲ 400,000
旅費交通費	96,810	300,720	▲ 203,910
通信費	1,000	5,000	▲ 4,000
消耗備品費	1,340	5,000	▲ 3,660
図書印刷費	1,000	5,000	▲ 4,000
賃借料	4,000	80,000	▲ 76,000
租税公課	755,985	600	755,385
新財団法人移行経費	0	982,800	▲ 982,800
雑 費	128,844	61,215	67,629
経常費用計	5,845,149	5,670,335	174,814
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 2,175,921	▲ 1,534,370	
投資有価証券評価損益等	303,780	0	303,780
評価損益等計	303,780	0	303,780
当期経常増減額	▲ 1,872,141	▲ 1,534,370	▲ 337,771

2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
有価証券償還益	392,993	3,480,000	▲ 3,087,007
指定正味財産より振替額	149,942,960	0	149,942,960
経常外収益計	150,335,953	3,480,000	146,855,953
(2) 経常外費用			0
指定正味財産へ振替額	0	6,522,250	▲ 6,522,250
経常外費用計	0	6,522,250	▲ 6,522,250
当期経常外増減額	150,335,953	▲ 3,042,250	153,378,203
当期一般正味財産増減額	148,463,812	▲ 4,576,620	153,040,432
一般正味財産期首残高	9,134,179	13,710,799	▲ 4,576,620
一般正味財産期末残高	157,597,991	9,134,179	148,463,812
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0
財産評価損益等	5,620,310	500,400	5,119,910
一般正味財産より振替額	0	6,522,250	▲ 6,522,250
一般正味財産への振替額	149,942,960	0	149,942,960
当期指定正味財産増減額	▲ 144,322,650	7,022,650	▲ 151,345,300
指定正味財産期首残高	207,022,650	200,000,000	7,022,650
指定正味財産期末残高	62,700,000	207,022,650	▲ 144,322,650
Ⅲ 正味財産期末残高	220,297,991	216,156,829	4,141,162

正味財産増減計算書内訳表

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

科 目	実施事業等会計			その他会計			法人会計	内部取引 消去	合計
	継1	特定寄付	共通	小計	その他	共通			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取利息							3,669,228		3,669,228
経常収益計	0	0	0	0	0	0	3,669,228	0	3,669,228
(2) 経常費用									
① 事業費									
助成金	4,156,170	500,000	0	4,656,170	0	0	0	0	4,656,170
福井県への継続寄付	3,630,000	500,000		3,630,000					3,630,000
事務委託費	400,000			400,000					400,000
旅費交通費	96,810			96,810					96,810
通信費	4,000			4,000					4,000
消耗備品費	5,360			5,360					5,360
図書印刷費	4,000			4,000					4,000
賃貸料	16,000			16,000					16,000
② 管理費	0	0	0	0	0	0	1,188,979	0	1,188,979
事務委託費							200,000		200,000
旅費交通費							96,810		96,810
通信費							1,000		1,000
消耗備品費							1,340		1,340
図書印刷費							1,000		1,000
賃借料							4,000		4,000
租税公課							755,985		755,985
雑 費							128,844		128,844
経常費用計	4,156,170	500,000	0	4,656,170	0	0	1,188,979	0	5,845,149
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 4,156,170	▲ 500,000		▲ 4,656,170			2,480,249	0	▲ 2,175,921
投資有価証券評価損益等							303,780		303,780
評価損益等計							303,780		303,780
当期経常増減額	▲ 4,156,170	▲ 500,000		▲ 4,656,170			2,784,029	0	▲ 1,872,141
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
有価証券償還選益							392,993		392,993
指定正味財産より振替額							149,942,960		149,942,960
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	150,335,953	0	150,335,953
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額							150,335,953		150,335,953
当期一般正味財産増減額	▲ 4,156,170	▲ 500,000		▲ 4,656,170			153,119,982		148,463,812
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	9,134,179		9,134,179
一般正味財産期末残高	▲ 4,156,170	▲ 500,000		▲ 4,656,170			162,254,161	0	157,597,991
II 指定正味財産増減の部									
財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	5,620,310		5,620,310
一般正味財産への振替額							149,942,960		149,942,960
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	▲ 144,322,650		▲ 144,322,650
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	207,022,650		207,022,650
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	62,700,000		62,700,000
III 正味財産期末残高	▲ 4,156,170	▲ 500,000		▲ 4,656,170			224,954,161		220,297,991

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有の有価証券については償却原価法を採用している。

満期保有目的の債券並びに子会社及び関連会社株式以外の有価証券のうち市場価格のあるものについては、時価評価に伴って生じる評価差額は、当期の正味財産増減額として処理している。

2. 会計方針の変更

平成 20 年 4 月 11 日付け内閣府公益認定等委員会による「公益法人会計基準」以下「平成 20 年基準」により作成している。

3. 財産の増減額及びその残高

財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
有価証券	196,237,770	60,353,400	54,054,810	202,536,360
定期預金	17,704,410	17,704,410	17,704,410	17,704,410
普通預金	2,763,938	275	2,764,213	0
合 計	216,706,118	78,058,085	74,523,433	220,240,770

4. 担保に供している資産

該当事項なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当事項なし

7. 保証債務等の偶発債務

該当事項なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

過年度において満期保有目的有価証券は一部売却したことにより、他の全銘柄についてその他保有目的有価証券に振替えている。

9. 投資有価証券の内訳

その他保有目的有価証券の取得価額と帳簿価額並びに期末時価による評価損益は次のとおりである。

銘柄	取得価額	評価替前 帳簿価額	時価	評価損益
第30回20年利付国債3.7%	51,834,500	51,834,500	50,865,000	▲969,500
かながわ県民債第14回	38,006,826	36,862,650	36,452,460	▲410,190
第8回30年利付国債1.8%	101,385,000	106,700,000	113,700,000	7,000,000
第8回アルゼンチン共和国円貨債券(GDPリンク)	10,000,000	1,215,120	1,518,900	303,780
合計	199,465,826	196,612,270	202,536,360	5,924,090

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当事項なし

11. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当事項なし

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

福井県への特定寄付による返戻金 500,000 円を含めた 149,322,650 円を指定正味財産から一般正味財産への振替を行い、指定正味財産には県からの出捐金のみを計上した。

平成 27 年 3 月 12 日	149,322,650 円	うち福井県への寄付金 500,000 円
------------------	---------------	----------------------

13. 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

14. 重要な後発事象

該当事項なし

附属明細書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

1. 財産の明細

(単位：円)

資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
有価証券	196,237,770	60,353,400	54,054,810	202,536,360
定期預金	17,704,410	17,704,410	17,704,410	17,704,410
普通預金	2,763,938	275	2,764,213	0
財産計	216,706,118	78,058,085	74,523,433	220,240,770

2. 引当金の明細

該当なし

財 産 目 録

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

1. 貸借対照表科目	2. 場所・物量等	3. 使用目的等	4. 金 額
(流動資産) 現 金		運転資金として	7,000
普通預金①	(県信用漁連 本店)	運転資金として	50,221
流動資産合計			57,221
(固定資産) 有価証券			202,536,360
	(みずほ証券)	公益目的財産と	
	第 30 回 20 年利付国債	して保有してお	(50,865,000)
	<額面 50,000,000 円>	り、運用益を公益	
	<取得価額 51,834,500 円>	目的事業の財源	
	(SMBC 日興証券)	と法人会計の管	
	かながわ県民債第 14 号	理費の財源とし	(36,452,460)
	<額面 36,300,000 円>	て使用している	
	<取得価額 38,006,826 円>		
	第 8 回 30 年利付国債		(113,700,000)
	<額面 100,000,000 円>		
	<取得価額 101,385,000 円>		
	第 8 回アルゼンチン共和国		(1,518,900)
	円貨債券(GDP リンク)		
	<額面 10,000,000 円>		
	<取得価額 10,000,000 円>		
	(元本維持債)		
定期預金	(県信用漁連 本店)	公益目的財産と	17,704,410
	<額面 6,304,410 円>	して保有してお	
	(県信用漁連 本店)	り、運用益を公益	
	<額面 5,700,000 円>	目的事業の財源	
	(県信用漁連 本店)	と法人会計の管	
	<額面 5,700,000 円>	理費の財源とし	
		て使用している	
固定資産合計			220,240,770
資産合計			220,297,991
流動負債合計			0
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			220,297,991

監事の意見書

私たち監事は、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの平成 26 年度における理事の業務執行の状況を、法令、寄付行為および監査細則にしたがって監査を実施するとともに、理事長から提出された事業報告書の内容について詳しく監査したところ、事業報告、財産目録、貸借対照表、収支計算書および正味財産増減計算書は、公益法人の会計原則に従って振興会の財産および収支の状況を正しく示していることを認めます。

平成 27 年 5 月 25 日

一般財団法人 福井県内水面漁業振興会

監 事 丸山 忠男 

監 事 吉田 善信 

監 事 藤原 健治 

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

私たち監事は、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの公益目的支出計画実施報告書に関して、実施の状況を調査した結果、公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

平成 27 年 5 月 29 日

一般財団法人 福井県内水面漁業振興会

監 事 丸山 忠男 

監 事 吉田 善信 

監 事 藤原 健治 

平成 27 年度事業計画(案)

日本を取り巻く経済情勢は、長引く不況の下で低金利と為替レートの不安定が継続してきたが、近年は円安・株高が続き、経済状況が上向きとなっている。

財団法人等公益法人制度改革により、当振興会も平成 26 年 4 月 1 日に一般財団法人への移行登記となり、平成 26 年度以降は基金の柔軟な活用による内水面漁業振興事業の円滑な実施が可能となった。

本年度については、公益目的支出計画に基づき、次の 3 事業を適切に実施するとともに、福井県への特定寄付を継続して実施する。

1. 漁業被害防止事業

湖沼・河川漁場における不法投棄物・汚濁水に起因する漁場汚染を防止することや内水面漁場周辺清掃等の経費に対する経費を助成する

2. 水産増殖促進事業

福井県内水面漁業の振興を目的とした放流事業等の実施に要する事業費を助成する

3. 漁業経営安定事業

福井県内水面漁業の技術向上、経営安定を目的とした情報提供、指導・相談、講習会、実地研修会の開催等に要する事業費を助成する

4. 特定寄付

福井県に寄付を行う。

※上記 1～3 について、助成対象事業を実施する者がいない等やむを得ない場合には、振興会が直接これらを実施する。

平成27年度収支予算(案)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:円)

科 目	平成26年度 (決算)	平成27年度 (予算案)	比較増減	備 考
I 収入の部				
1. 財産運用収入				
(1) 債権	4,768,558	38,694,945	33,926,387	
第8回利付国債(30年) 〈取得価格〉101,385,000円〈利率〉1.8%	1,434,330	1,434,330	0	
第30回利付国債(20年) 〈取得価格〉50,000,000円〈利率〉3.7%	737,087	737,087	0	
かながわ県民債 〈取得価格〉38,006,826円 〈利率〉1.42%	410,746	36,300,000 205,373	36,094,627	H27償還
第143回利付国債(20年) 〈取得価格〉50,074,000円 〈利率〉1.60%	2,168,240	0	△ 2,168,240	
第8回アルゼンチン共和国円貨債券GDPリンク 〈取得価格〉10,000,000円	18,155	18,155	0	
(2) 預金利息	14,062	14,062	0	
定期預金 17,704,410円口	13,606	13,606	0	
普通預金A 2,763,388円口	0	0	0	
普通預金B	456	456	0	
I. 収入の部 合計	4,782,620	38,709,007	33,926,387	
II 支出の部				
1. 事業費	4,785,014	24,452,007	19,666,993	
水産資源増殖促進事業	2,350,000	2,350,000	0	
漁業被害防止事業	1,280,000	1,280,000	0	
漁業経営安定事業	0	100,000	100,000	
出向負担金	400,000	400,000	0	
旅費交通費	96,810	150,000	53,190	
通信費	4,000	4,000	0	
消耗備品費	5,360	4,000	△ 1,360	
図書印刷費	4,000	4,000	0	
賃借料	16,000	16,000	0	
雑費	128,844	144,007	15,163	
特定寄付(福井県)	500,000	20,000,000	19,500,000	
2. 管理費	1,298,750	14,257,000	12,958,250	
出向負担金	200,000	200,000	0	
旅費交通費	96,810	150,000	53,190	
通信費	1,000	1,000	0	
消耗備品費	1,340	1,000	△ 340	
図書印刷費	1,000	1,000	0	
賃借料	4,000	4,000	0	
租税公課	11,800	100,000	88,200	
有価証券取得経費	0	13,800,000	13,800,000	
新財団法人移行経費	982,800	0	△ 982,800	
II. 支出の部 合計	6,083,764	38,709,007	32,625,243	